

本家寿洋教授の原著論文が 日本保健科学学会誌において「優秀賞」を受賞

原著論文「Reliability and validity of the Japanese Elderly version of Leisure Activity Enjoyment Scale」を執筆したリハビリテーション科学部作業療法学科の本家寿洋教授は、2016年度日本保健科学学会誌に掲載された原著論文のなかで、もっとも優秀な論文に与えられる「優秀賞」を受賞しました。

2017年9月30日(土)に首都大学東京で開催された第27回日本保健科学学会において、同賞の表彰と併せて受賞講演を行いました。受賞講演では、この原著論文は、高齢者が過去に経験した余暇活動の楽しさを把握する評価法の信頼性と妥当性を検討した論文であることや、この評価法を基盤に脳卒中・認知症・がんなどの疾患や1次予防に貢献できる余暇活動の楽しさプログラムを開発する研究への将来展望が報告されました。



大学院生の秋月茜さんが北海道体育学会において 「若手研究者賞」を受賞

2017年12月9日(土)、10日(日)に開催された2017年度北海道体育学会第57回大会において、大学院リハビリテーション科学研究科博士課程2年の秋月茜さんが、優秀な若手研究発表に与えられる「若手研究者賞」を受賞しました。

秋月さんは、「北海道マラソンに出場した男性ランナーにおける障害の部位と走行距離の関連」というテーマで発表を行い、ランニング障害の発生部位が練習における走行距離、体型、走歴、走力によってどのように異なるのかを明らかにし、ランニング障害の予防に役立てられる重要な研究として、今後の更なる活動に期待が寄せられています。



尾形美和歯科衛生士が日本歯周病学会学術大会において 「ベストハイジニスト賞」を受賞

2017年12月16日(土)、17日(日)に国立京都国際会館で行われた日本歯周病学会60周年記念京都大会において、歯科クリニック歯科衛生部の尾形美和歯科衛生士が「ベストハイジニスト賞」を受賞しました。この賞は、日本歯周病学会の学術大会における歯科衛生士ポスター発表セッションにおいて最も優れた内容のポスター発表に対して表彰されるものです。

尾形歯科衛生士は、前大会の春季学術大会(福岡)において、「多数の全身疾患を有する歯周病患者に非外科的な歯周治療の著名な効果が認められた1症例」と題したポスター発表を行い、その治療内容と考察の質の高さ、そして、他の学会会員の会員活動に及ぼす貢献度が評価されました。

歯周病が全身の健康に及ぼす影響が注目されている現在、尾形歯科衛生士のみならず歯科衛生士の今後の活動に益々の期待が寄せられています。



EDITOR'S NOTE

健康科学の領域での最新の研究にソーシャルキャピタル(社会的資源)と呼ばれているものがあります。その知見によると「まわりの人や社会との繋がりが薄いと感じている人は健康寿命が短い」とのことです。つまり孤立は健康の敵というわけです。この世の中はそれなりにうまくできている。善意には善意が返ってくる。いわゆる「情けは人の為ならず」と感じている人の健康寿命は長くなるというのです。人間関係こそがソーシャルキャピタルの要点かもしれません。邂逅(かいこう)という言葉が示すように、どのような人と巡り合うのかは時にその人の人生にとって決定的な意味を持つことがあります。人との出会いについて、作家の宮本輝さんは近著『水のかたち』の中で「善き人との出逢いやつながりが、思いもかけない幸福や幸運を呼ぶ」、「善き人とは、他者の痛みや悩みを我がごとのように感じ、何とか力になってあげようと行動を起こす人と定義したい」と書いています。この号が発刊される時節は別れと出会いが交錯する春になると存じます。これから先、皆様が善き人と出会い豊かな人生となりますことを祈念申し上げます。寒さ厳しき折ですが、お体健やかにお心康らかにお気持ち爽やかにお過ごしくださいとさせていただきます。(K・S記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.169

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 仲西 康裕 松田 康裕
遠藤 紀美恵 志渡 昇一 金澤 潤一郎 澤田 篤史
本家 寿洋 柳田 早織 大山 静江 杉谷 昌彦
宮川 雄一 小林 伶 園部 望未

発行日 ● 2018年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
☎ 0133-23-1211 (代表)
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。